

組織行動研究

No. 25

編集後記にかえて

40年近い研究者生活で、何十篇の論文を書いたか定かではないが、本巻をもって終りである。

この間に作成したテスト、マニュアル、著書も何十になるであろうか。

これらの研究を整理してみると、大きく分けて、二つのグループに別けられると思う。

一つは、パーソナリティの基礎的研究、もう一つは応用的研究である。

応用的研究は、更に、産業関係と臨床関係に分けることができる。

前者には、“モラル・サーベイ”“消費者行動”“採用”“人事考課”“管理能力の発見と育成”，そのための“インバスケケット・ゲームの開発”“管理者研修のマニュアル作り”などが含まれる。

次に、臨床関係であるが、これはパーソナリティの研究とは表裏一体のものである。そして、パーソナリティの研究も亦、二つに大別できる。

一つは、いわゆるパーソナリティの基礎に関する、実証的、法則定立的な研究である。指向性の研究、筆跡とパーソナリティの関係、WAIを用いた自己の研究などはこの系列に入ろう。

併し、著者にとってのメイン・テーマはトータル・パーソナリティの把握であり、それに用いる道

具の開発である。

SCT, INV, TAT, DOSEFU, PRT, WAIなどはこの系列である。

これらを組合せてテスト・バッテリーを作成する。そして、更に、それらを使ってパーソナリティ・スケッチを描くためのマニュアルをつくることである。

本巻, No. 34 は、その一応の雛型である。胸を張って、差し出せるほどのものではないが、とりあえずの答案である。

いつれ、遠くない将来「パーソナリティ診断」という形にでもして出版したいと考えている。

なにはともあれ、小生の編集のパーソナリティ関係の論文は、これで終りである。

次号からは、石田英夫、南 隆男の編集になる。

これで「オワリ」という解放感と、過ぎてみれば、アツという間の研究者生活に感慨一入である。

今後は晴耕雨読の生活に浸る予定!?

「コレニテ幕!」

(横田 仁)

慶應義塾大学産業研究所社会心理学班研究モノグラフ

組織行動研究 (第25号)

責任編集 横田 仁・南 隆男

KEIO STUDIES ON
ORGANIZATIONAL BEHAVIOR AND
HUMAN PERFORMANCE No. 25
MARCH 1993

〒108 東京都港区三田 2-15-45
発行 慶應義塾大学産業研究所
電話 03-(3453)-5640(直通)
<平成5年3月28日>

〒104 東京都新宿区高田馬場 3-8-8
印刷 株式会社 国際文献印刷社
電話 03-(3362)-9741(代表)
<平成5年3月21日>